

平成 20年 12 月期 第1四半期決算短信（非連結）

平成20年5月14日

会社名 株式会社 **iSERVE** 上場取引所等 GR
 コード番号 2171 本社所在都道府県 東京都
 本店所在地 東京都港区三田四丁目7番19号ハタビル5階
 問い合わせ先 代表取締役社長 齊藤 勲 TEL (03) 6420-3234

1. 平成20年12月期第1四半期の業績（平成20年1月1日～平成20年3月31日）

- (注) 1. 本四半期決算短信の数値は、未監査です。
 2. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	千円	%	千円	%	千円	%
20年第1四半期	57,016	(-)	△10,195	(-)	△10,638	(-)

	当期純利益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 経常利益率
	千円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
20年第1四半期	△11,320 (-)	△384 65	-	△109.1	△9.9	△18.6

- (注) 1. 期中平均株式数 20年第1四半期 29,430株
 2. 会計処理の方法の変更 無
 3. 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率です。
 4. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、最終損益が損失となるため、記載しておりません。
 5. 前期においては、四半期決算を行っていないため、前期の記載は省略しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	千円	千円	%	円 銭
20年第1四半期	118,809	15,809	12.8	486 30

- (注) 1. 期末発行済株式数 20年第1四半期 31,400株
 2. 前期においては、四半期決算を行っていないため、前期の記載は省略しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	千円	千円	千円	千円
20年第1四半期	△26,048	△1,050	37,497	56,918

(注) 前期においては、キャッシュ・フローの状況を作成していないため、前期の記載は省略しております。

2. 平成20年12月期の業績予想(平成20年1月1日～平成20年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金(円)				
				第1四半期	中間期末	第3四半期	期末	年間
通 期	千円 322,000	千円 27,664	千円 27,594	—	0	—	0	0

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 892円72銭

上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、1株当たり予想当期純利益は、期中平均株式数を30,910株として算出しております。

第 5 期 第 1 四半期報告書

(平成 20 年 1 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日)

会社名(定款上の商号)	株式会社 iSERVE
英文名(英文商号)	iSERVE Corporation
コード番号	2171
代表者の役職氏名	代表取締役 齊藤 勲
本店の所在の場所	東京都港区三田 4 丁目 7 番 19 号ハタビル 5 階
電話番号	03-6420-3234
連絡者	代表取締役 齊藤 勲

I 四半期の業績

(1) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	第 5 期第 1 四半期 自平成 20 年 1 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 20 年 1 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日
	I 売 上 高		57,016
II 売 上 原 価		17,156	17,156
売 上 総 利 益		39,860	39,860
III 販売費及び一般管理費		50,056	50,056
営 業 損 失		10,195	10,195
IV 営 業 外 収 益		22	22
V 営 業 外 費 用		465	465
経 常 損 失		10,638	10,638
VI 特 別 損 失		682	682
税引前四半期(当期)純損失		11,320	11,320
法人税、住民税及び事業税		—	—
四半期(当期)純損失		11,320	11,320

※1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2 前期においては、四半期決算を行っていないため、前年同期累計の記載は省略しております。

科目 \ 期 別	第 5 期第 1 四半期 自平成 20 年 1 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 20 年 1 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日
期 中 平 均 株 式 数	29,430 株	29,430 株
1 株 当 た り 四 半 期 (当 期) 純 損 失	384 円 65 銭	384 円 65 銭
潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 た り 四 半 期 (当 期) 純 利 益	—	—

(注) 1 潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益は、第 5 期第 1 四半期及び当期累計については最終損益が損失となるため、記載を省略しております。

2 前期においては、四半期決算を行っていないため、前年同期累計の記載は省略しております。

(2) 事業部門別売上高

(単位：千円)

事業部門 \ 期 別	第 5 期第 1 四半期 自平成 20 年 1 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日	当期累計 自平成 20 年 1 月 1 日 至平成 20 年 3 月 31 日
プロフェッショナル・サービス	54,937	54,937
コ ス メ テ ィ ク ス	2,026	2,026
そ の 他	52	52
合 計	57,016	57,016

(注) 前期においては、四半期決算を行っていないため、前年同期累計の記載は省略しております。

(3)貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別	
	第 4 期 末 (平成 19 年 12 月 31 日 現 在)	第 5 期 第 1 四 半 期 (平成 20 年 3 月 31 日 現 在)
(資産の部)		
I 流 動 資 産		
1. 現 金 及 び 預 金	46,519	56,918
2. 売 掛 金	32,734	36,008
3. 商 品	561	481
4. 前 渡 金	1,902	—
5. 前 払 費 用	1,592	1,398
6. 立 替 金	287	402
流動資産合計	83,598	95,210
II 固 定 資 産		
1. 有 形 固 定 資 産		
(1) 建 物 付 属 設 備	2,748	2,668
(2) 車 両	1,240	1,126
(3) 工 具 器 具 備 品	1,204	2,712
有形固定資産合計	5,194	6,507
2. 無 形 固 定 資 産		
(1) ソ フ ト ウ ェ ア	2,333	2,193
無形固定資産合計	2,333	2,193
3. 投 資 そ の 他 の 資 産		
(1) 投 資 有 価 証 券	1,000	11,500
(2) 出 資 金	50	50
(3) 敷 金 保 証 金	2,989	2,874
(4) 長 期 前 払 費 用	535	474
投資その他の資産合計	4,574	14,898
固定資産合計	12,102	23,599
資 産 合 計	95,700	118,809

(単位：千円)

科 目	期 別	第 4 期 末 (平成 19 年 12 月 31 日現在)	第 5 期第 1 四半期 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
	(負債の部)		
I 流 動 負 債			
1. 買 掛 金		9,351	10,840
2. 1年以内返済予定長期借入金		14,890	10,892
3. 未 払 金		5,792	6,319
4. 未 払 費 用		7,477	7,819
5. 未 払 法 人 税 等		180	—
6. 未 払 消 費 税 等		4,715	—
7. 預 り 金		4,230	2,033
8. そ の 他		—	1,099
流 動 負 債 合 計		46,636	39,003
II 固 定 負 債			
1. 長 期 借 入 金		43,054	63,996
固 定 負 債 合 計		43,054	63,996
負 債 合 計		89,690	102,999
(純資産の部)			
I 株主資本			
1. 資 本 金		28,200	38,760
2. 資 本 剰 余 金		—	10,560
(1) 資 本 準 備 金		—	10,560
3. 利 益 剰 余 金			
(1) そ の 他 利 益 剰 余 金			
繰越利益剰余金		△22,729	△34,050
利益剰余金合計		△22,729	△34,050
株主資本合計		5,470	15,269
II 新株予約権			
1. 新株予約権		540	540
純資産合計		6,010	15,809
負債・純資産合計		95,700	118,809

※記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(注)

科 目	期 別	第 4 期 末 (平成 19 年 12 月 31 日現在)	第 5 期第 1 四半期 (平成 20 年 3 月 31 日現在)
	発 行 済 株 式 総 数		28,200 株
1 株 当 たり 純 資 産 額		193 円 97 銭	486 円 30 銭

(4) 株主資本等変動計算書

(自 平成 20 年 1 月 1 日 至 平成 20 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	新株予約権	
		資本準備金	繰越利益 剰余金			
平成 19 年 12 月 31 日残高	28,200	—	△22,729	5,470	540	6,010
当第 1 四半期中の変動額						
新株の発行	10,560	10,560		21,120		21,120
第 1 四半期純損失			△11,320	△11,320		△11,320
株主資本以外の項目の当 第 1 四半期変動額（純額）						—
当第 1 四半期中の変動額合計	10,560	10,560	△11,320	9,799	—	9,799
平成 20 年 3 月 31 日残高	38,760	10,560	△34,050	15,269	540	15,809

(5) 貸借対照表及び損益計算書作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表及び損益計算書作成の基礎としている会計処理の原則及び手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している会計方針は「会社内容説明書 第 5 経理の状況 (4) 個別注記表①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照下さい。

事業年度の貸借対照表及び損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則及び手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

項目	会社の採用している会計方針
1. 固定資産の減価償却の方法	四半期の減価償却費は年間発生見積額の 4 分の 1 に相当する金額を計上しております。
2. 税金の計上基準	法人税、住民税及び事業税は既支払額を計上しております。
3. 経過勘定項目	未収収益、未払費用等の経過勘定項目の内、重要性の低い項目は、四半期決算書上資産及び負債への計上を省略しております。
4. 消費税等の表示	消費税等は、仮払消費税等と仮受消費税等を相殺し、残額を流動資産又は流動負債に表示しております。

なお、当該四半期の貸借対照表及び損益計算書並びに株主資本等変動計算書については、会計監査を受けておりません。

(6) 会計方針の変更

該当事項はありません。

II 第5期第1四半期（平成20年1月1日から平成20年3月31日）の業績の概況

当四半期におけるわが国の経済情勢は、昨年来から続く原油高による物価高騰やサブプライム問題の影響が深刻さを増し、不動産業界ならびに金融業界への影響が顕在化するとともに、急激な円高などにより経済の減速感がさらに鮮明になって来ております。

このような経済環境のなか、情報サービス産業においては、ビジネス継続性（ビジネス・コンティニューイティ）の強化、日本版SOX法と呼ばれる「金融商品取引法」の施行などから活発であった企業の情報化投資にも陰りが見え始め、業績への影響が懸念されております。

当社においては、データストレージを製造・販売するベンダーに対する各プロフェッショナル・サービスの販売は好調であり、さらに新たなベンダーとの契約や顧客の開拓が進み、順調に売り上げを伸ばすことができました。

この結果、当四半期につきましては、売上高は57,016千円、経常損失は10,638千円、当四半期純損失は11,320千円となり、増収減益となりました。

事業部別の業績を示すと次のとおりであります。

(1) プロフェッショナル・サービス事業

プロジェクトマネジメント・サービス、デザイン&インプリメンテーション・サービスおよびオペレーションサポート・サービスの3つのサービス分野のうち、オペレーションサポート・サービスの需要が高まり、既存顧客におけるサポート業務が拡大したほか、新たに日本航空インターナショナル株式会社/JALインフォテック株式会社からストレージ管理業務を受託いたしました。

またストレージに係る企業が一堂に会するデータストレージエキスポ（5月14日から3日間：東京ビックサイト）への出展を決定し、当社のサービスならびにストレージ製品の拡販を図るため、ストレージ営業部の立ち上げを進めております。

その結果、第1四半期の売上高は54,937千円となり、売上全体の96.4%を占めております。

なお、新たにブロードコミュニケーションズシステムズ株式会社ならびにシスコシステムズ合同会社へのプロフェッショナル・サービスの提供に関する受注も決定し、第2四半期にはサービスの提供を予定しております。

(2) コスメティクス事業

新たなサロンの開拓は無かったものの、既存2サロンでの顧客開拓が進み、第1四半期の売上高は2,026千円となり、全体の売上の3.6%を占めております。

(3) その他の事業

コンテンツ事業においては、株式会社ジー・サーチとの契約が終了したことから、売上は発生いたしておりません。

その他、音楽事業、コモディティ事業を合わせた第1四半期の売上高は、合計で52千円となり、全体の売上の0.1%を占めております。

Ⅲ 第5期通期の売上高及び利益の予測について

(単位：千円)

期 別 科 目	第4期(実績) 自平成19年1月1日 至平成19年12月31日	第5期(予想) 自平成20年1月1日 至平成20年12月31日
売 上 高	191,364	322,000
経常利益又は損失(△)	△12,063	27,664
当期純利益又は純損失(△)	△16,743	27,594

Ⅳ 資金及び借入金の状況

(1) 現金及び預金の増減

(単位：千円)

期 別 科 目	第5期第1四半期 自平成20年1月1日 至平成20年3月31日
現金及び預金の増減額	10,398
現金及び預金の四半期首残高	46,519
現金及び預金の四半期末残高	56,918

(主な増減の理由)

第1四半期の現金及び預金の主な増減の理由は、四半期純損失の計上(11,320千円)、新株の発行(21,120千円)、投資有価証券の取得(10,500千円)、借入金の増加(16,944千円)等です。

(2) 長期借入金の増減(1年内返済予定長期借入金を含む)(単位：千円)

期 別 科 目	第5期第1四半期 自平成20年1月1日 至平成20年3月31日
長期借入金の増減額	16,944
長期借入金の四半期首残高	57,944
長期借入金の四半期末残高	74,888

(主な増減の理由)

第1四半期の長期借入金の主な増減額は、運転資金の調達及び約定返済によるものであります。

V その他

募集による新株式の発行完了

平成 19 年 12 月 17 日開催の当社取締役会において決議されました、平成 20 年 2 月 26 日を払込期日とする新株式（普通株式）の発行に関して、下記のとおり払込が完了いたしましたので、お知らせいたします。

(1) 発行新株式数	普通株式 3,200 株
(2) 払込金額	1 株につき 金 6,600 円
(3) 資本組入額	1 株につき 金 3,300 円
(4) 払込期日	平成 20 年 2 月 26 日（火）
(5) 資本増加日	平成 20 年 2 月 26 日（火）
(6) 調達資金額	21,120,000 円

（ご参考）

1. 発行済株式総数の推移

増資前発行済株式総数	普通株式 28,200 株
増資後発行済株式総数	普通株式 31,400 株

2. 資本金の推移

増資前資本金	28,200,000 円
増資後資本金	38,760,000 円
（増加資本金）	（10,560,000 円）

3. 調達資金の用途

社内向けのエデュケーションセンターの立ち上げに係る設備投資及び業容拡大に伴う人材採用等の運転資金に充当する予定です。